

目的

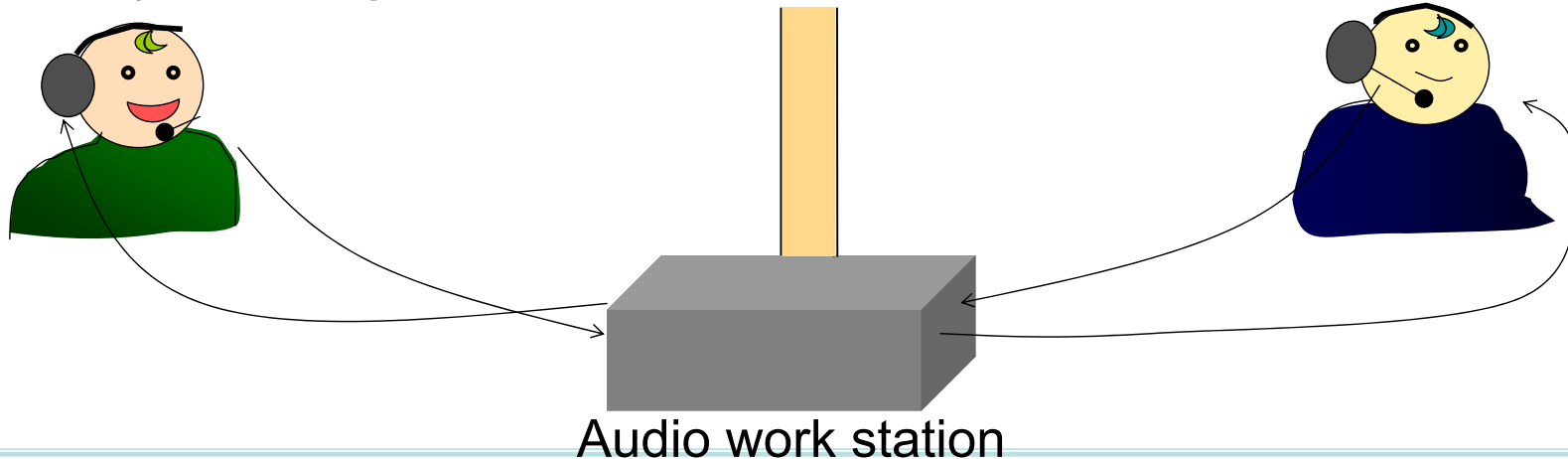
- 対話場面において**人の話を聴くこと**は、情報を得る手段であるだけでなく、相手との関係を安定させる手段でもある。
 - 人の話を聴くには、自らの心的構えが受容的である必要があるといわれている。
- 本研究は、**受容的構え**を持つ話者の対話における2者間の相互影響の過程を探求することを目的とする。
 - **交替潜時**（話者交替の時間間隔）の**同調傾向**を切り口とする。
 - これまで同調傾向の研究でしばしば分析指標とされており、子どもの社会化の発達や対話相手との関係を感度よく反映することが知られている。
 - これまでの研究から、**受容的構えと姿勢の同調傾向との間に関係があることが示唆されている**（たとえば、Schefflen, 1964; Bernieri, Gilles, Davis, Grahe, 1996; Charny, 1966; Schmais & Schmais, 1983; Siegel, 1995 Navarre, 1981, 1982）。

方法

被験者は非対面下で1つの議題について15分間話しあった。

□ 条件

- 受容的構え 被験者に「もう1人の被験者とあなたは賛否が異なるため、話し合って、その議題についての妥協策を見出してください」と教示。→聞き入れ条件
- 非受容的構え 被験者に「もう1人の被験者はあなたと賛否を異にしているため、相手に自分の意見を主張してください」と教示。→意見固持条件



□ 話題

条件

ペア

性別

話者

話題

意見固持
条件

□ 被験者

12ペア

聞き入れ
条件

A

女

A1, A2

女性専用車両

B

女

B1, B2

女性専用車両

C

女

C1, C2

死刑制度

D

男

D1, D2

女性専用車両

E

男

E1, E2

親の世話

F

男

F1, E2

原子力発電

a

女

a1, a2

女性専用車両

b

女

b1, b2

死刑制度

c

女

c1, c2

脳死

d

男

d1, d2

女性専用車両

e

男

e1, e2

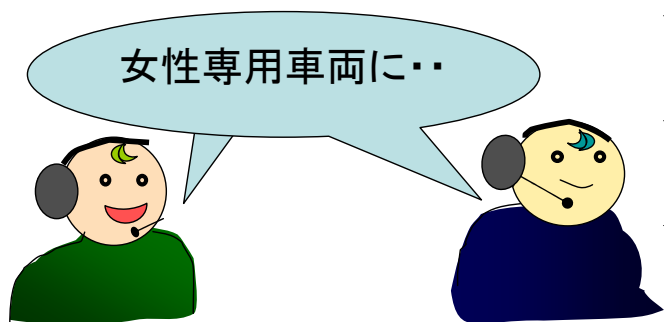
女性専用車両

f

男

f1, f2

原子力発電

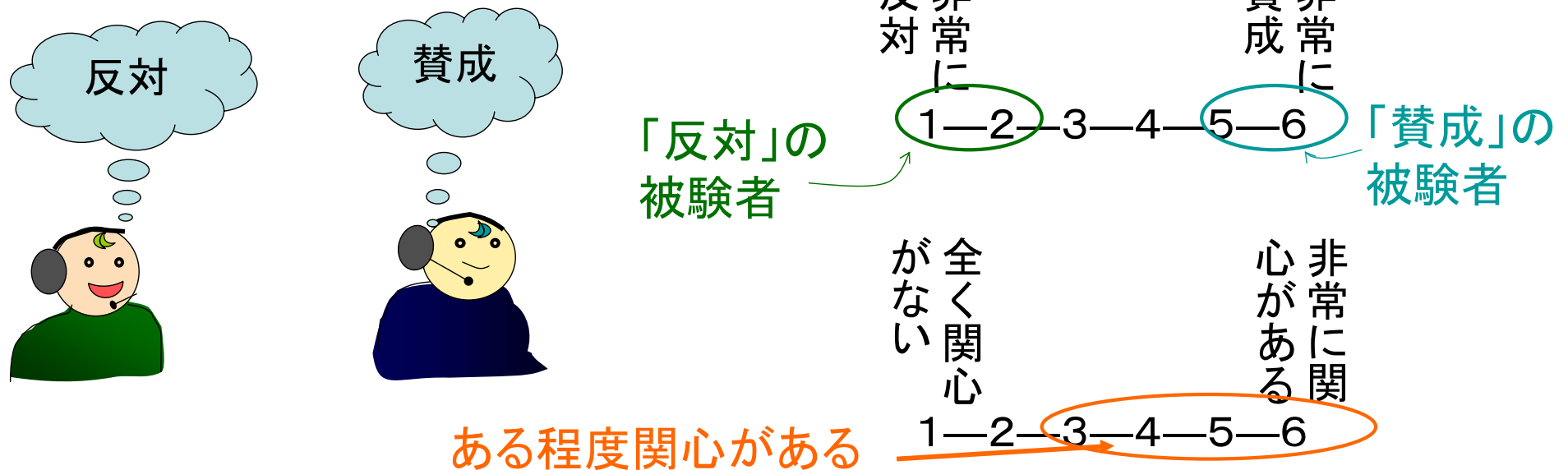


女性専用車両に...

□以下の条件を満たすように、被験者を組み合わせた。

- 同性で、初対面である。
- ある議題についての賛否が異なる。
- ある議題についてある程度関心を持ち、
- かつ関心の程度が2者の間でほぼ等しい。

事前調査への回答をもとにした。

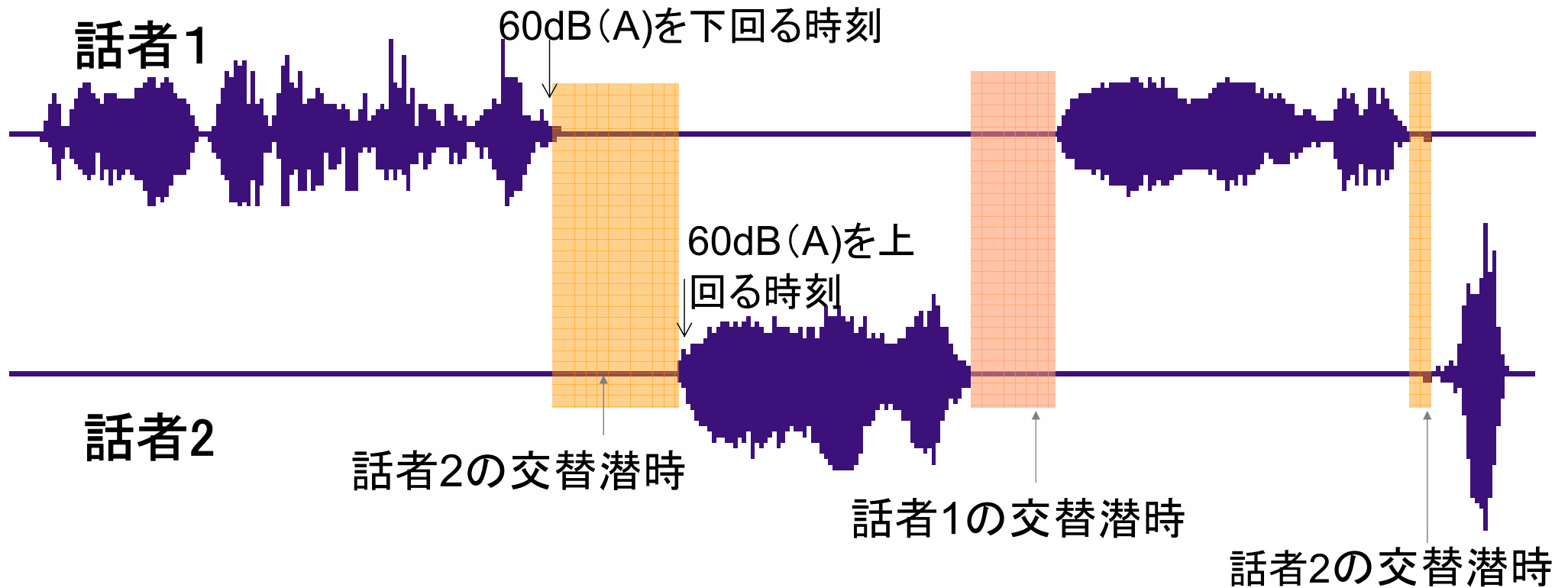


ただし、3と6の組み合わせはなし。

結果

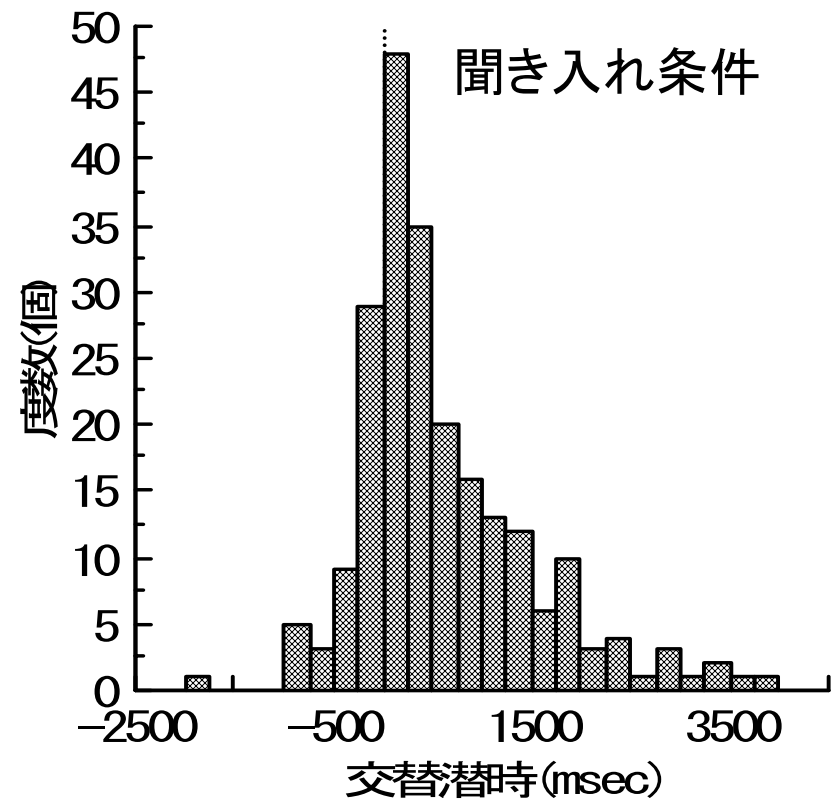
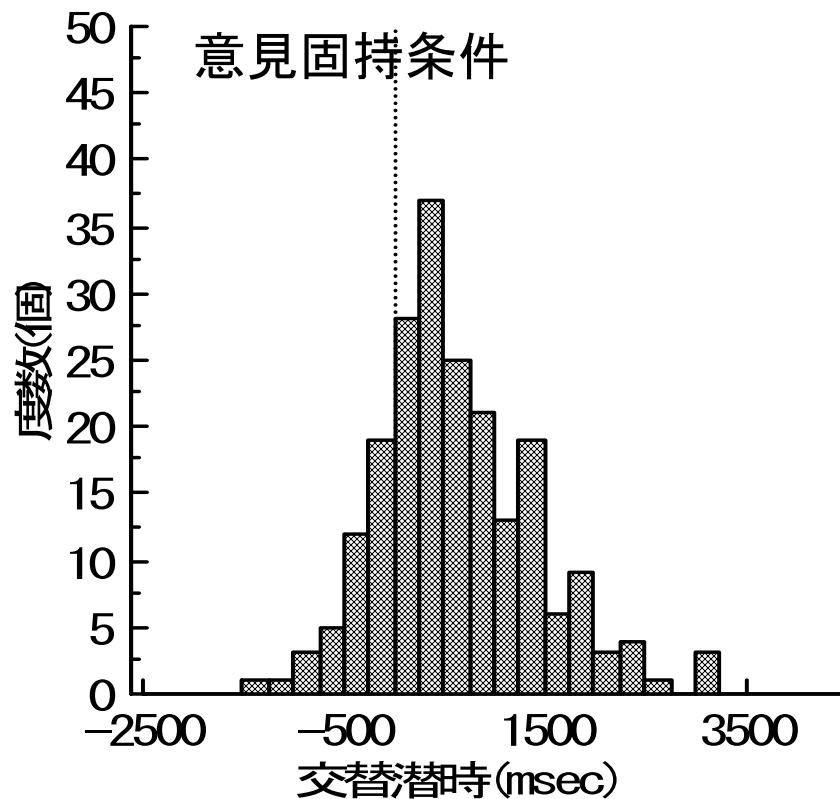
□ 交替潜時の計測方法

- 話者交替において、1人の人が話し終わってから次の人が話し始めるまでの話者交替の時間間隔



□ 全被験者の交替潜時：中央値410msec(四分位偏差483msec, n=433).

- 意見固持条件：中央値490msec(四分位偏差465msec, n=210)
- 聞き入れ条件：中央値330msec(四分位偏差485msec, n=223)

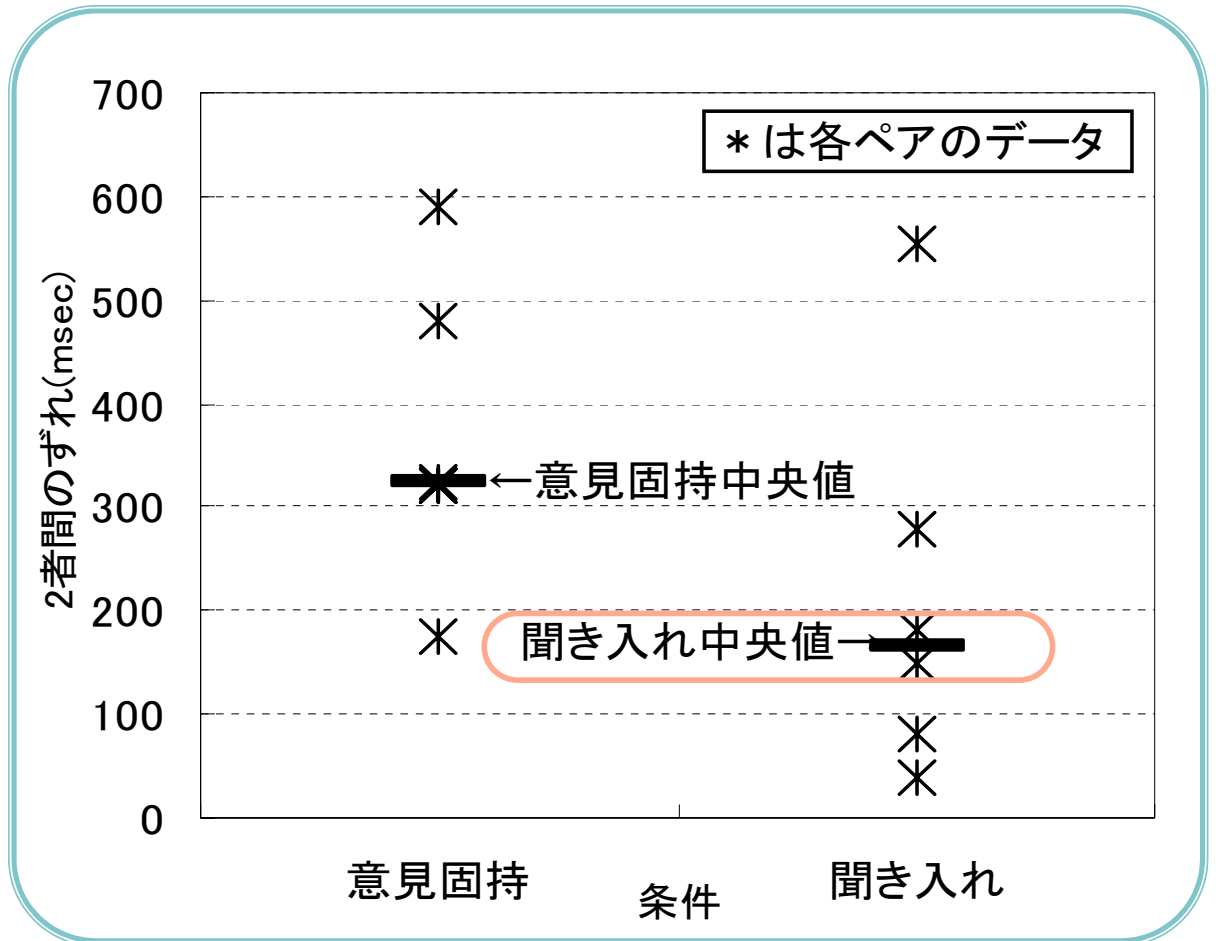


□ 各話者の交替潜時の中央値を求め、ペア内ペア間で比較.

⇒聞き入れ条件において、異なるペア間では交替潜時は大きく異なっても、ペア内の2者の交替潜時はそれほど異ならない傾向.
一方、意見固持条件においてはその傾向が認められない.

□ 「2者間のずれ」……ペア内の2者間の差の絶対値

➤ 聞き入れ条件の方が意見固持条件よりも2者間のずれが小さい傾向.



□「級内相関係数」・・・2者間の一致の程度を示す指標として使用.

- 係数が1に近いほど2者は一致している.
- 級内相関は, 先行研究(Feldstein, 1968; Welkowitz, J., Feldstein, S., Finklestein, M., & Aylesworth, L., 1973; Welkowitz, Cariffe, Feldman, 1976)によっても使われている.

級内相関係数

意見固持条件 - .30

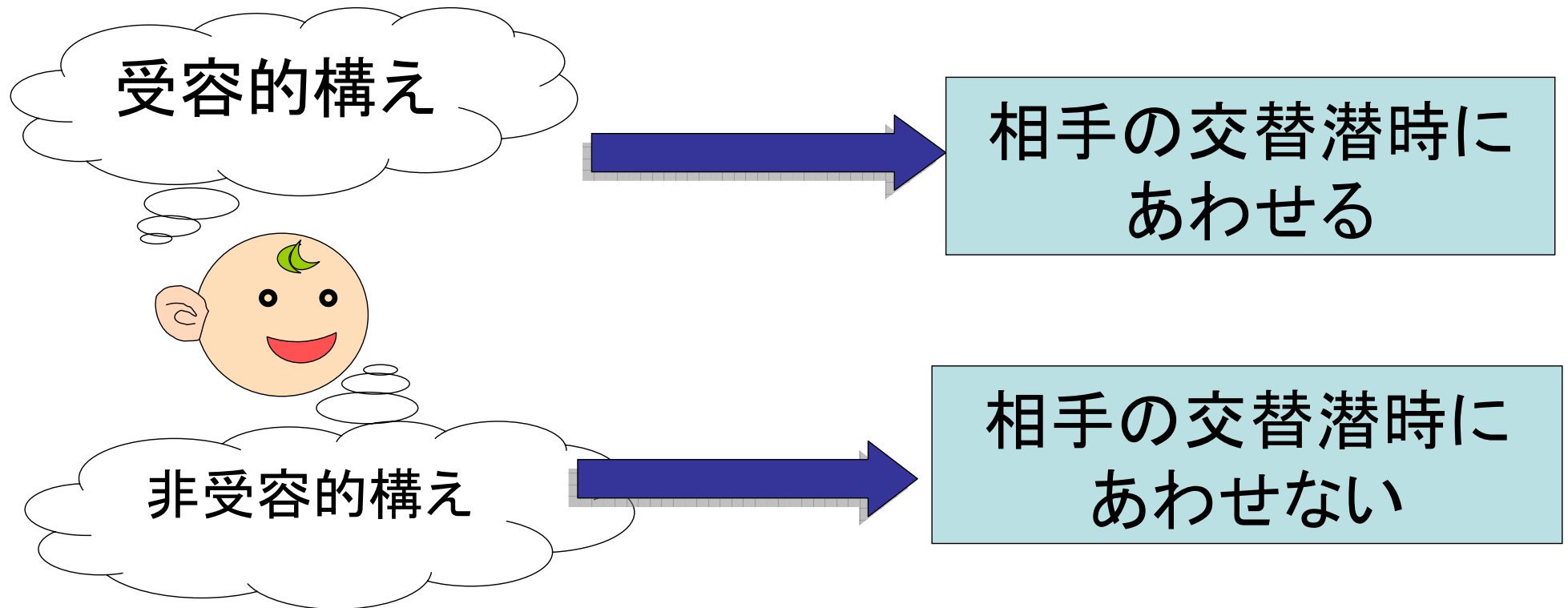
聞き入れ条件 .66

互いに類似
しない

互いに類似

考察

相手の話を聞くときの心的構えが、交替潜時に影響することが示された。



受容的構えで人の話を聴くには、相手の話を理解するだけでは不十分で、相槌や視線などの非言語的チャンネルを用いて相手の話に関心を示していることを相手に伝えることが必要といわれている。

交替潜時の同調傾向は、相手の話に関心を示していることを相手に伝える手段として機能している可能性が推測される。

—ただし、受け手の立場からのアプローチも必要。

あなたの話に関心があるよ

交替潜時の
同調傾向

今後の課題

- 聴く技術のモデル化
- 工学的応用
- 聴く技術トレーニング

対話スタイルが発話の 時間パターンに及ぼす影響

～意見固持型と聞き入れ型の比較～

○長岡千賀 小森政嗣* 中村敏枝

DRAGUNA, Raluca Maria

(大阪大学大学院人間科学研究科 *大阪電気通信大学総合情報学部)

key words: 対話, 同調傾向, 交替潜時

条件	ペア	性別	話者	交替潜時の中央値
意見固持 条件	A	女	(A1, A2)	(625, 1215)
	B	女	(B1, B2)	(380, 205)
	C	女	(C1, C2)	(735, 415)
	D	男	(D1, D2)	(360, 685)
	E	男	(E1, E2)	(130, 610)
	F	男	(F1, E2)	(530, 210)
聞き入れ 条件	a	女	(a1, a2)	(190, 745)
	B	女	(b1, b2)	(380, 200)
	c	女	(c1, c2)	(105, 385)
	d	男	(d1, d2)	(1040, 1120)
	e	男	(e1, e2)	(270, 120)
	f	男	(f1, f2)	(240, 280)